

きんもくせい

平成27年 学校教育だより

May **5** 第325号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



新入生歓迎会～部活動紹介・美術部～

写真提供／水谷中学校

春は桜

東中学校 三年

林 省吾

春は桜

桜の花びらが美しく

舞っている

桜の木の下に立つのは

さわやかでいい

花見に行ってみるのは

のどかでいい

桜の木の道で散歩するのは

気持ちがいい

春の桜はとてもいい

心には素晴らしい歌がある♪

音楽の授業が終わり、学習した曲を口ずさんで音楽室を出ていく子ども達。私の中ではとても大切にしている光景です。音楽の授業で、何を伝え、教えていくのか。学習した曲が心に残ったから口ずさむことができるのです。授業の四十五分間、そして一曲一曲が勝負です。

では、「音楽」とは何でしょう。「音楽」は「音を楽しむ」と書きませんが、授業では楽しいことばかりではありません。歌唱では口を大きく開けて歌詞や表現を覚えたり、楽器は練習なしでは上達しません。楽しいだけでなく、辛く苦しいときもあります。でも努力を続け乗り越えた時、充実感・喜び・達成感が生まれます。これらの思いは、子どもにとって大きな自信となり深く心に残るのです。音楽の学習を通して「努力したらできた!」という達成感や学級・学年で作りに上げる一体感を体得し、充実感あふれる音楽の授業を目指し、日々取り組んでいます。

歌唱の取り組み
基本はクラス

音楽の授業で最も大切にしているのは「学級の歌唱力の向上」「教科書の曲を表現豊かに、きれいに歌う」の二点です。本校の児童の多くは、授業に積極的ですが、中には音楽が苦手な意欲が高まらない児童もいます。表情良くのびやかに歌うことは、高学年になるにつれ厳しくなります。しかし、学級でしっかり声を出して歌えなければ、学校全体の音楽(歌唱力)の向上は望めません。学級での歌唱力の向上を目指し、教科書を用いて、音楽の授業や音楽朝会を通して様々な取り組みを行っています。

みずほ台小学校 教諭 熊田 玲子

充実感あふれる 音楽の授業を目指して

わかる授業 = 小学校 音楽 =

●歌うこと

曲がわかると、いよいよ歌唱指導です。初期の段階でのねらいは「しっかりと声を出して歌うこと」と「正しい音程で歌うこと」です。たくさん練習を重ねると自信を持って歌えます。高学年では学級内で合唱もできるようになります。斉唱にはない、和音やハーモニーの美しさを味わい、曲想豊かに歌うことができます。歌唱(合唱)に深みが出ます。

●授業の工夫

授業の工夫では、長い曲を歌うために必要な呼吸法とし

「きらきらひかる子どもたちと」

特別支援教育

勝瀬小学校 教諭 諏佐 あゆみ

「にじいろ学級」は、女子二人、男子五人の七人の元気な児童が学習しています。昨年度の四月、一年生を迎え、上級生は、よい手本になろうと張り切っており、頼もしく思っていました。上級生としての思いがあっても、苦手なことは苦手です。人前に立って話すことや、集中して取り組みを続けることに、心が折れそうになってしまいま

す。そんな上級生の姿を見た一年生が、「がんばって。」と背中を押したり、アドバイスをしたりと、応援をするようになりました。友達からの応援が大きな励みになり、気持ちを持ち直してやり遂げることもでき、お互いが支え合う関係が少しずつ成立していききました。その変化は休み時間にもあらわれ、教師を通して遊んでいた子ども達が、子ど

水谷小学校 六年 木村 優太



水谷小学校では、掃除の時間に、おしゃべりをしないで掃除をするという「もくもく清掃」というものを行っています。もくもく清掃をすることで、短い時間で、きれいにしっかりと掃除をすることができます。もくもく清掃ができるようになると、掃除以外の場面でも、やるべ

心も磨く!! ~もくもく清掃~

きことに集中して、きちんと取り組めるようになると思います。ほくたち6年生が中心となり、これからも取り組んでいきたいです。

中学校に向けて、水谷小学校での残りの時間を大切に過ごしていきたいです。



曲との出会い

曲との出会いは人との出会いに似ています。その曲に初めて取り組む時、子ども達は「どんな曲だろう。」「合っているかな?」とまるで初対面の人と話すかのように不安そうに歌います。しかし、授業



授業の中での歌唱活動

子ども達は授業で新曲に取り組む時、「どんな曲だろう。」と楽しみにしています。

●曲当てクイズ

新曲に取り組むとき、子ども達は教科書を閉じ、教師の範唱を聴き、音程や歌詞を頼りに何の曲か探します。おもしろいことに、学年が上がるとう季節的なことや教師の趣向を考慮して予想を立て、あつという間に曲を見つけます。この取り組みによって好奇心が高まります。

終わりに

音楽のよさは「みんなで心をひとつにできること」「厳しい練習を重ね、その先に大きな喜び・充実感・達成感を得られること」だと思います。音楽には目に見えない大きな力があります。より高いものを目指すほど諦めない強い意志と努力が必要です。日々の取り組みの中でひとつずつ積み重ねて成長することで大きな曲に挑戦できるのです。このことを胸に刻み、私は日々授業に取り組んでいます。

指導・講評
みずほ台小学校校長 川端正則

本校には、音楽の授業を楽しみにしている子ども達が多勢います。

これは、まさに、普段の授業の積み重ねです。授業では、子ども達が楽しく音楽活動とかわり、直接的な音楽体験を通して、主体的に学習を進めることができるような指導のねらいと手立てを明確にした授業展開を工夫しています。これからも、音楽を通して、心の豊かな子ども達が育っていくことを期待しています。



全校生徒が集う音楽朝会『歌い隊』の活躍

本校では、月に一度、音楽朝会を実施しています。唱歌も同士で遊ぶことができるようになっていきました。気持ちのぶつかり合いも出てきますが、相手の気持ちを考えた言葉や行動を学ぶいいチャンスだと思っています。「自分がされたらどう思う?」とやり取りを通して他者理解を進めています。

心に残る音楽を

音楽では、思いを歌に乗せて相手(聴き手)に伝えることも大切なことです。曲によっては、音程の複雑さや表現力の高さに思うように声が出せずに試行錯誤します。でも諦めずに練習を重ね、成果が表れた時、聴き手の心に伝わって感動が生まれます。子ども達は、決して音楽のプロではありませんが、心をひとつにして歌い上げることができた時、その歌声は、大きな力となって人を動かし、心に残る音楽となるのです。

ファインダー越しに

富士見西中学校 保護者 杉山 和美

写真を趣味にしている事もあり、「子ども達の写真をパンパン撮っている」と言いたい所だが、我が家だけなのかもしれないが、実際にはそんな事は無い。小学一年生から男の子の中でサッカーを始め、三歳上の兄の影響だと思ふ。四年生からは少女チームでプレイしていたが、今現在中学生になり学校の部活動で、また男の子と一緒にプレイしている。小学生の頃は良く試合を観に行き、始めはビデオを撮っていた。何時頃からか写真を撮る事が多くなり、最近ではすっかり写真ばかりである。プライベートでは恥ずかしいのか、なかなか家族写真ですら撮らせてくれないが、サッカーをしている時は、プレイに集中しているので顔を隠すわけにもいかず、その時ばかりはしっかりと写真を撮らせて貰っている。試合中の真剣な眼差し、コーチの話を聞いている真面目な表情、試合以外の仲間や保護者との談笑、下の子達の面倒を見ている時の優しい表情、そんな



めさせた柔道ですが、礼儀を重んじるとも素晴らしいスポーツだと認識することができました。そして一つのスポーツを継続する事により、子どもたちが身体的なものだけではなく、精神的にもこれ程までに成長できるのかと、親である自分自身が大変驚いている次第です。



助産師とつくり上げる「いのちの授業」

東中学校

本校では、二年前から、助産師の協力を得て、「いのちの授業」に取り組んでいます。自分の存在価値を見失いがちな思春期に、生命の尊さ、親の愛情を再認識し、遅く生き抜いてほしい、という願いから始めた授業です。「一つの命が生まれる奇跡」「赤ちゃん自信の持つ力強さ」「親の思いや願い」などの内容を、映像を交えた講義、妊



婦疑似体験や新生児人形のお世話体験、保護者から子へ宛てた手紙の披露などを通して、感動的な学びを展開しています。今年度は、三年生を対象として、出生前診断や人工妊娠中絶などの「命の選択」の在り方を柱とした授業で、決断する親だけでなく、周囲の人々、社会全体の考え方も問われる事柄なのだ、深く気づくことができたと感じています。



「日々の生長を感じて」

関沢小学校

関沢小には、敷地内に広い畑があります。春になり、校舎から見渡せる畑には、各学年が植えた十種類以上の野菜がすくすくと育っています。畑が中庭にあるため、子ども達は、毎日、教室や廊下の窓から、野菜の生長を見ることができます。さつと靴を履き替えて、観察や水やりに行くこともできます。初めて見るピーマンの花に目を輝かせる子やだんだん赤くなつていくトマトを毎日見ている子、虫が付いてしまったことを大急ぎで先生に知らせに行く子など、畑は素敵なニューズといっぱいです。それを支えているのは、放課後や長期休業日に、長靴を履いて作業をする先生や応援団のお母さん達です。子ども達は、卒業するまでに二十種類ほどの野菜を育てる経験を通して、「関小ファーム」で過ごす時間を通して



て、心をたくさん耕し、豊かな心を持った人に成長して欲しいと願っています。

教育課題特集

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

生きる力を

柔道を通じて

みずほ台小学校 保護者 木苗 典子

わが家には中二と小五の息子がいて、数年前から柔道を習っています。最初の頃は厳しい練習を嫌がり、何度も「今日は行きたくない」と泣いていた二人でしたが、徐々にそれまでできなかった逆立ち歩きや後転ができるようになり、小さな「達成感」を積み重ねていくことにより、子どもながらも継続する事の楽しさ、努力する事の素晴らしさを感じつつ

地域のつながりを、大人と子どもの両方から

富士見市PTA連合会 会長 佐野 正幸

各学校では学校応援団をはじめ、地域との様々な取り組みが試みられています。これにより、以前と比べて学校と地域の接点が増えました。しかし、「知っている地域の人・子」が増えていくかという点、また課題が多いと感じます。この数年、子どもが被害者にも加害者にもなる悲しい事件・事故が多く起きています。どちらにもならないためには「地域の目」をいかに増やすか、また、何かあったら、知っている人に子どもがすぐに助けを求められる環境が大切です。昔の長屋のように、近隣の人を皆が知っている生活環境の中に「知らない人」がいればすぐに目につきます。折しも、市内に大型商業施設ができ、多方面から非常に多くの人が集まるようになりました。これにより市が活性化する一方で、犯罪・事故のリスクも増すといえます。当会では、昨年より「835（はちさんごー）運動」を始めました。これは、不審者情報などが多い「8・3・5





富士見特別支援学校

夢いっぱい入学式

平成27年度、富士見特別支援学校では、小学部5名、中学部8名、高等部6名の新入生を迎えました。19名の新入生は、これから始まる学校生活に期待で胸をふくらませていました。



ふじみ野小

体力向上！「いきいきタイム」

ふじみ野小学校では、自己の体力向上を目標に体育朝会を毎週行っています。元気いっぱいに活動に取り組む姿が、子ども達の汗となってあらわれていました。



鶴瀬小

元気に朝のあいさつ運動

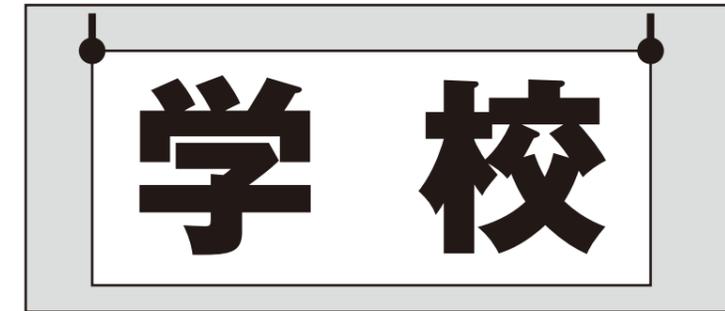
毎朝、クラス毎(4年生以上)に「おはようが、みんなの元気 鶴瀬小！」「一日のスタートライン！鶴っ子のあいさつ」などと記した登旗を持ち、玄関前であいさつ運動を行っています。元気なあいさつが返ってきます。



水谷中

感動は挑戦と思いやりから

水谷中学校のスローガン「感動は挑戦と思いやりから」を、新学期に生徒会を中心に発表しました。今年度も新しい感動、新しい挑戦が始まります。



つるせ台小

つるせ台 新リーダー！大活躍

6年生が新1年生に校歌を教えたり、一緒に遊んだりしています。この日は、じゃんけんゲームをしました。上級生の優しさが輝きました。



富士見台中

新入生対象の部活動オリエンテーション

富士見台中学校では、例年、新入生を対象に上級生たちが部活動の紹介を行っています。先輩が日頃の練習内容等を発表形式で実演し、部活動選択の一助としています。



南畑小

なかよし遠足

4月28日、よく晴れた青空の下、歩いてびん沼自然公園に行きました。縦割りグループでオリエンテーリングや〇×クイズをして、仲良く過ごすことができました。とても暑い日でしたが、全員が元気に歩き思いっきり遊べました。



本郷中

入学式で響きわたる「大地讃頌」

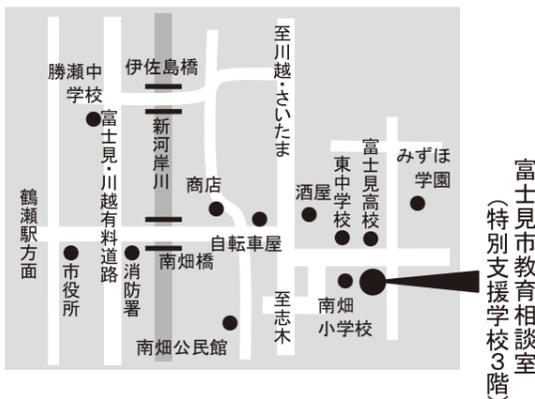
思いもよらぬ天候の変化で、4月8日は桜吹雪と風花が混じり合う幻想的な春景色となりました。その中を141名の新入生が胸を張って本郷中の門をくぐりました。入学式では、上級生が大きな歌声で迎えてくれました。



水谷小

77名の仲間が加わりました。

4月15日、「1年生をむかえる会」が行われました。6年生に手を引かれ、笑顔で入場した1年生。「ドキドキドン一年生！」を元気いっぱいに歌っています。



富士見市教育相談室 (特別支援学校3階)

おにぎりパーティー、クリスマスパーティー、終業式等
三学期
一月八日から三月四日
始業式、避難訓練、餅つき、感謝の集い、通室証明書授与式等
以上のような体験活動の他、お子さんの状態や気持ちに十分に配慮しながら徐々に学校復帰に向けた様々な取組を行っています。
通室を希望する方は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。
(問合せ) 富士見市教育相談室 TEL049125315313
(担当者) 指導員 佐久川・上坪

II市教育相談室よりII 『教育相談Q&A』
Q 「あすなる」ってどんな教室？
A 「あすなる」とは、富士見市教育相談室(富士見特別支援学校三階)に設置されている適応指導教室の名称です。この教室では、学校に行きたいけれど行かない市内の市立小・中学校に在籍する不登校児童生徒の自立と学校復帰を支援しています。
「あすなる」は、午前九時から午後二時半まで開室していますから、そのお子さんの状態に応じて自由に利用することができます。等身大のありのままでも過ごせる居場所です。
「あすなる」では、一人ひとりの児童生徒の状態にあった通い方や過ごし方を本人の意思を尊重し、保護者の方ともじっくりと時間をかけて一緒に考えていきます。
また、「あすなる」では、学習とともに様々な体験活動も行っています。
△開室期間と主な体験活動▽
一学期
四月八日から七月十日
始業式、花の苗植え、田植え、難波田城公園内古民家での体験活動、宿泊体験活動、学校給食センターでの昼食会、終業式等
二学期
八月二日から十二月十一日
始業式、稲刈り、としまえんへの遠足、

教育委員会だより

《平成27年度富士見市教育行政方針》

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
 - 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
 - 2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成
 - 3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
 - 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
- II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
 - 1 家庭・地域の教育力の向上
 - 2 生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進
 - 3 学びあう地域社会を創る活動の推進
 - 4 市民の暮らしとまちづくりに役立つ読書活動の推進
 - 5 郷土遺産の継承と文化芸術の振興
 - 6 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進
- III 組織の総合力を生かした教育の推進

平成27年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしくお願いたします。

- 《編集委員長》 森 田 惠 (水谷東小学校校長)
- 《編集副委員長》 山 崎 美 晴 (関沢小学校教頭)
- 《編集委員》 辻 富 田 香 一 織 (西中学校主幹教諭)
- 福 井 智 子 (勝瀬小学校教諭)
- 濱 野 裕 司 (勝瀬中学校教諭)
- 湯 浅 純 也 (水谷小学校教諭)
- (富士見特別支援学校教諭)

平成27年度 富士見市立小・中・特別支援学校 運動会・体育祭、音楽会の開催日等

学校名	運動会・体育祭	予備日	音楽会(合唱コン)
鶴瀬小学校	5月23日(土)	5月26日(火)	11月7日(土)
水谷小学校	9月19日(土)	9月25日(金)	11月7日(土)
南畑小学校	9月19日(土)	9月24日(木)	11月10日(火)
関沢小学校	9月26日(土)	9月29日(火)	11月7日(土)
勝瀬小学校	5月30日(土)	6月2日(火)	11月7日(土)
水谷東小学校	9月19日(土)	9月25日(金)	11月7日(土)
諏訪小学校	5月30日(土)	6月3日(水)	11月7日(土)
みずほ台小学校	9月19日(土)	9月20日(日)	11月6日(金)
針ヶ谷小学校	5月30日(土)	6月2日(火)	11月7日(土)
ふじみ野小学校	5月30日(土)	5月31日(日)	11月7日(土)
つるせ台小学校	9月19日(土)	9月20日(日)	11月7日(土)
富士見台中学校	5月16日(土)	5月21日(木)	10月30日(金)
本郷中学校	5月16日(土)	5月19日(火)	11月6日(金)
東中学校	5月23日(土)	5月27日(水)	10月28日(水)
西中学校	5月23日(土)	5月26日(火)	10月29日(木)
勝瀬中学校	5月24日(日)	5月27日(水)	10月26日(月)
水谷中学校	9月12日(土)	9月15日(火)	11月5日(木)
富士見特別支援学校	5月23日(土)	5月24日(日)	11月21日(土)学習発表会



意気軒昂

針ヶ谷小学校 教諭 高野 亮



針ヶ谷小学校に初任者として着任して一年が経ちました。子ども達は私に多くの目標を与え、成長させてくれました。私が担任している五年生の

り合いな大きめの椅子に腰かけている子ども達がいきました。その表情からは、これから始まる一年間に大きな期待と不安が入り混じっていることが

「明るく前向きなクラスにし

ん。

子ども達は、素直で明るく、優しい心をもっています。四月八日の始業式後、クラスに入ると、行儀よく、どこか緊張した面持ちで少し身体とは不釣

うに五年生としての生活を送

ていきたい。「課題には粘り強く取り組んでいきたい。」

編集日記

先日、文部科学省から「睡眠を中心とした生活習慣と子どもの自立等との関係性に関する調査」の結果が示された。その調査結果のポイントとして、次のようなことが挙げられている。

①朝食を毎日食べる子どもは、ルールを守って行動すると回答する割合が高い。②朝食時に家

のひととの会話が、多い子どもほど、自分のことが好きと回答する割合が高い。③寝る直前まで各種の情報機器(テレビ、ゲーム、携帯・スマホ、パソコン等)に

接触することがよくある子供ほど、朝、ふとんから出るのがつらいと感じることがあると回答する割合が高い。④就寝時刻が遅い子どもほど、自分のことが好きと回答する割合が低く、な

んでもないのにイライラすることがあると回答する割合が高い。これらのことから就寝時刻とともに、就寝前の過ごし方や朝食時の会話が、子どもの心身の成長に影響を及ぼすことが伺える。

富士見市では、基本的な生活習慣の確立、学力の向上を目指し、家庭と連携して5ティズチヤレンジに取り組んでいる。生活習慣の定着とともに人と人との会話、ふれあい、関わりを大切にしたものである。情報にあふれ、情報リテラシーの向上が求められる時代だからこそ。

(森田)